

積グラフを用いたグラフ信号処理の高速化

長沼 怜生

背景

- ビッグデータは効率的な処理と構造の利用が必要
- ⇒グラフ信号処理が有効
- 積グラフを用いて計算量を減らす

目的

- 複雑な構造の処理の高速化
- データ圧縮に応用

積グラフ

複雑な構造のグラフを二つに分けて隣接行列のサイズを小さくする
処理時間が約**1/58**に短縮

